

# 『世界の憲法・日本の憲法』

---

(S.R・その他)

私は法学部を卒業後、法律と異なる分野で就職をしましたが、20代後半になり、今一度大好きだった法律の勉強の学び直しを始めました。

その中で憲法に関しては、基本書や判例を勉強するだけでなく、比較憲法の分野を学ぶことによって、世界の社会／政治の動きをより深く理解できると思い、本書に関心を持ちました。例えば、各国の政治に関しては、日頃のニュースで頻繁に話題になりますが、それらの国の基本を成す憲法を知ることによって、権利に対する国民の意識の違いや立法政策の目的等の理解に繋がると思います。

本書の使い方として、佐藤幸治先生の『日本国憲法論〔第2版〕』と判例百選で基礎を勉強したうえで、本書を他国の憲法を知るための入門書として活用させて頂いております。入門書であるため分量はやや少ないと感じますが、興味のある分野を見つけ、他文献で深掘りするのが良いと思います。

本書の体裁として、権利／統治に関する各国の憲法規定が広く浅く理解できるという点で、比較憲法の入門書としては優れていると思います。他方で、初学者が読む事を想定した場合、本書のPART1はやや難しいと感じましたので、PART3 権利の保障から読み進めるのが良いと思います。